



# とっとり県老連だより

## 第27号

■会員数 43,867人  
 ■クラブ数 893クラブ  
 平成23年4月現在  
 ■鳥取県老人クラブ  
 連合会ホームページ  
<http://www.fuumon.sakura.ne.jp/>



伯耆町老連  
 〈福祉大会〉  
 若手会員がはつらつと  
 受付します！

健康づくり  
 ・  
 介護予防活動

岩美町老連  
 〈健康ウォーキング〉  
 満開のコスモスに参加者  
 も寮山子もご満悦！

会員  
 加入増

若手リーダーの  
 養成・活用

一般高齢者への  
 呼びかけ

県老連愛称決定！

## 『わかとりクラブ鳥取』

イメージアップのため募集を行い、県内各地からの多数応募の中から選ばれました。



### 地域と共に

社団法人鳥取県老人クラブ連合会

会長 高 澄子

老人クラブの事業推進につきましては格別の御協力を賜りありがとうございます。本年も地域とともに歩む活動に取り組みたく思いますので、よろしくお願い申し上げます。

今年には全国老人クラブ設立50周年です。この新しい年が、皆様の上に更に良い年になりますよう、益々の御健康と御清福、老人クラブ活動の更なる発展を期待して、地域活動の一層の盛り上がりを見ます。

あとになりましたが、昨年の東日本大震災に際しては、皆様のあたたかいお心を見舞金や元氣袋に込めて下さいます、誠に有難うございました。今年も元気で、皆様と共に、明るい地域づくりに努めます。

### 平成24年度 県老連目標

#### 地域支え愛活動

- 1 魅力あるクラブづくりと加入促進  
 (1)「全国三天運動」、「老人の日・老人福祉週間」(9月15日～21日)の運動推進  
 (2)全国共通目標「老人クラブ21世紀プラン」の推進  
 (3)加入促進と若手会員の組織化
- 2 単位クラブ活動の活性化と市町村老連の充実・強化  
 (1)老人クラブ地区別研修会(地域支え愛事業)の開催  
 (2)環境リサイクル事業の推進  
 (3)女性リーダー研修会の開催  
 (4)若手リーダー研修会の開催  
 (5)活動活性化助成事業の推進
- 3 相互に支えあう健康づくり・友愛活動の推進・強化  
 (1)健康づくり支援事業  
 「健康づくり・介護予防リーダー研修会」の開催  
 (2)「閉じこもりや孤立を防ぐ友愛活動」の強化



# 特集 加入促進について

23年度に新規加入者が5人以上、または新しくクラブを設置したことにより『老人クラブ活性化助成事業』の助成を受けた老人クラブに加入促進等についてお聞きしました。

## ■鳥取市老連 面影地区

会長 山崎 建治

鳥取市面影地区は新規会員10名が増加しました。自己の健康管理の為にグラウンド・ゴルフをする愛好家が多く加入し、昨年11月に面影小学校2年生83人と交流し楽しく競技をしました。

## ■鳥取市老連 河原支部

会長 萩原豊太郎

◎加入呼掛け 地域に活力を各集落で60歳になれば加入声掛けの実施

## ◎成果・実績

集落で男子40人加入

## ◎地域のために

◎自衛消防活動の中核となりホースの延長、巻き方、管槍要領、消火器の扱い方等訓練を実施

## ◎社会奉仕作業

公民館門松づくり、神社しめ縄飾りの作成等すべて率先して、住民の称賛の声が高い

◎今後も新加入が増加する見込み

## ■鳥取市老連 気高町支部

八幡明朗会 会長 田中平志郎

○若手委員による活性化への力と期待

八幡明朗会でも一段と高齢化が進み、なんとか若手会員の増加をしなくてはと考え、事業日程を土・日の休日に変更したところ2人、3人と参加者が増えてきました。若手会員が5人加入となり若い力と高齢者の豊富な体験を含めた智恵の結集によって、八幡明朗会の活性化への期待が高まっているように感じています。

## ■米子市老人クラブ連合会

会長 今岡 祐一

次のことをクラブ運営の指針とし、会員加入促進のため、複数で対象者宅を反復訪問し勧誘するなど取り組んだ。

◎熱情で、分身世話役を増やす

◎地域活性化の新規奉仕を企画

◎他団体の活動に積極参加貢献

◎趣味などの集会を定例化する

◎有職者が魅力を感じる新運営

## ■倉吉市老連 北白寿会

会長 井上 勇

○老人クラブ会員加入促進の取り組み

平成21年に市の包括支援センター、三朝温泉病院の先生の指導で転倒予防教室を始めました。田内自治公民館の協力もあり、

老人クラブ会員以外の高齢者も加わり、週1回のペースで3年近く開催しています。

その間、倉吉元気体操、茶話会を含めて毎週楽しい時間となり、自然な形で老人クラブ会員も60人近くになりました。

今後は田内地区内限定であるこの催しを北白寿会全体に広めていきたいと考えています。

## ■岩美町老人クラブ連合会

会長 日下部武志

○健康ウォーキング大会実施報告  
去る10月14日、コスモスの花が満開の中50人の参加のもと『第1回健康ウォーキング大会』を楽しんだ。当日は若手委員の皆さんにスタッフとして協力を戴き、皆一体となった大会になりました。

## ■八頭町老人クラブ連合会

会長 山崎 洋一

八頭町老連の加入率は60%前後で県内一を確保している。加入促進は単位クラブを通して、絆を大切に言うよう要望している。

若手委員会は、組織の分断につながるのを反対という声もあり、見合わせている。

## ■若桜町老連

赤松老人クラブ 会長 中島 寿道

皆で頑張った「一声運動」  
赤松老人クラブでは、会員一人

一人が友人・知人・ご近所に呼びかける一声運動で、5人の新会員の加入がありました。

また、新しく団地ができ、引越して来られた2人の方にも加入してもらったことができました。

## 須賀老人クラブ 会長 西尾 潔

「集落の会合をチャンスの場に」  
須賀老人クラブ内の「湯原老人クラブ」が集落での集会時に、老人クラブ加入の話を世話役さんにして貰い、6人の新会員の入会報告がありました。

春米老人クラブ 会長 山下 一義  
「同い年の人と粘り強く」  
春米老人クラブでは同世代の人に声を掛け、粘り強く話をしたところ同年6人の加入がありました。

## ■智頭町老連 那岐福寿会連合会

会長 矢部 政信

那岐地区は、東西8キロに、11集落が点在し、戸数342世帯、人口1116人、会員126人、高齢化率34・58%の核家族の多い地域です。

年若い孤独に陥り易い年頃ですが、友達が誘い合うことにより、会員が増えてきています。神社、お寺の清掃など奉仕活動には、予想以上に多くの参加があり高齢者の責任感強いと感じます。奉仕活動だけではなく、楽しく新しい活動を取り入れながら、会員が参加することを楽しみにされる



ようにしたいと思えます。雪ごもる2月から3月は、料理教室等の室内活動が多くなります。また、那岐福寿会だより、今回で33号(年1回、全戸配布)の編集に取りかかっています。

■北栄町老連

由良宿二区悠々クラブ

会長 桑本 幸雄

本年度は7人増の63人となりました。

入会していない人に老人クラブの活動状況等を説明し、働きかけたところ、比較的容易に入会してもらえました。

今後とも引き続き、会員増強に努めてまいりたいと考えております。

■南部町老人クラブ連合会

会長 安達 幸男

○会員加入促進について

世帯数150世帯、会員数58人の山円友クラブを紹介します。

60歳に達した方を対象に、カラオケ、グラウンド・ゴルフ同好会や料理教室に誘い、一年くらいかけて仲間作りをし、頃合をみて、老人クラブ加入呼びかけましたことが成功した例です。

■伯耆町老連 溝口支部

二部あけぼの会

会長 岡村 昌好

私たちの地区には老人会を始め

昭和会、こぶしの会(女性)とおおむね60歳以上の会が3つあります。集落内で皆で活動できるようにすべての人に声をかけ入会を進め夫婦共に何にでも参加できる事が意義ある仲間づくりだと思えます。

■日吉津村老連 松栄クラブ

会長 高塚 勇

『松栄クラブ新規加入募集について』

私の自治会は138戸、人口472人で、日吉津村全人口3426人の14%の集落です。60歳以上の方は165人で、その内、松栄クラブ加入者は44人の27%です。毎年2月上旬、役員10人で会議を開催し次年度の新規松栄クラブ加入会員を募集致します。

募集方法は「松栄クラブへのお願い」のチラシを作成、該当者に配布。配布内容は、活動で4月の花見、秋のお食事会、研修や地域活動への参加、また、日吉津村老連と連携の活動で、健康ではグラウンド・ゴルフ、ニュースポーツ、認知症予防、楽しみはお出かけ、友愛訪問による仲間同志の支え合い。社会活動として花作り、小学校や保育所との交流等です。年会費は1,500円です。募集の基本姿勢は、60代でお世話する、70代は自分の事は自分でする、

80代はお世話していただくと思えます。加入促進は大変で、現会員が2、3年がかりで声かけてやっと数人加入が現状です。



■日南町老人クラブ連合会

会長 江澤 誠輔

急激な過疎と少子高齢社会となった町内では、年々会員も減少し続けていますが、行事や活動の都度近隣の知人に呼びかけることで、新規加入者を増やす取り組みを始めましたところ、近年2クラブでの増員が実現しました。

老人クラブの魅力つてなあと

老人クラブ会員になると、いきいきとした高齢期の生活(シニアライフ)が実現します。

- ①地域に新しい仲間ができる
- ②健康の保持・増進になる
- ③知識や経験を生かし、新しい能力の発揮ができる
- ④社会活動への参画と貢献ができる
- ⑤心の安らぎ、充実感が得られる

〈活性化助成事業の助成の条件〉

助成対象事業	新規加入会員	新規単位クラブ
「健康づくり・介護予防活動」 「地域支え合い活動」 「会員加入促進活動」		
助成金額	1 単位クラブあたり 5,000円	1 単位クラブあたり 10,000円
助成対象	単位老人クラブにおいて新規加入会員5人以上	新規単位クラブ(30人以上)の設置または復活があった場合

〈23年度申請があった単位クラブ〉

市町村名	新規加入会員(1クラブ5人以上の加入)	新規クラブの設置(30人以上のクラブ設置)
鳥取市老人クラブ連合会	8	1
鳥取市老人クラブ連合会河原町支部老人クラブ		1
鳥取市老人クラブ連合会気高町支部老人クラブ	2	
米子市老人クラブ連合会	18	
倉吉市老人クラブ連合会	5	
岩美町老人クラブ連合会	9	
八頭町老人クラブ連合会	6	
若桜町老人クラブ連合会	3	
智頭町老人クラブ連合会	3	
北栄町老人クラブ連合会	5	
南部町老人クラブ連合会	4	
伯耆町老人クラブ連合会	1	
日吉津村老人クラブ連合会	3	
日南町老人クラブ連合会	1	
計	68	2



# 東から西から

## 第31回全国豊かな海づくり大会への協力

鳥取市老連 賀露地区

会長 綱田 良夫

平成23年10月29日・30日「つくろうよ みんなが笑顔に なれる海」をテーマに全国豊かな海づくり鳥取大会の式典と放流行事が天皇皇后両陛下のご臨席のもと行われました。

放流行事は鳥取港で行われ、両陛下を始め関係者の方々がおいでになることになりました。そこで皆様に気持ち良くおいでいただくための準備として、賀露町自治会が中心となり道を花で飾るための花の管理や放流行事に参加する会員集め等の依頼があり、賀露地区老人クラブ連合会（以下賀露老連）は理事会でこれらの行事に協力することを決めました。

花の植付けは9月下旬に「サルビア」及び「マリーゴールド」を600個のプランターにそれぞれ3本ずつ植えるもので、賀露老連会員5人を含め約40人が参加しました。水かけは植え付けの翌日から毎日各団体が交代で行い、植付けた苗



プランターに花の植付

は順調に根つき美しい花を咲かせることができました。そして放流行事の一週間前に賀露大橋から鳥取港までの歩道に花を植えたプランターを並べました。  
放流行事には賀露町内から300人が参加し、このうち賀露老連では各単位の会長が参加希望者の体調等を調べ、元気な75人の会員が参加しました。  
放流した稚魚は県魚の「ヒラメ」や「キジハタ」等で、両陛下を始め参加した全員が放流し、盛会のうち無事終了しました。  
放流行事に参加した会員の中に

地域は誰もが安心して暮らせる町は皆の願いです。私の近所には高齢者が多く、その中にはひとり暮らし高齢者の方もおられます。そこで、日々の見守りや、支え合いが必要だと感じており、ゴミ出し、弁当の配達、雪が降れば雪かき等を行います。  
また、ひとり暮らし高齢者のお宅を訪問して、体調や食事のことなどをお聞きします。訪問した際

## 温かい心豊かな地域に

倉吉市老連 枳形老人クラブ

会長 林 正己



花の苗木の水かけ

は、普段友達と会う機会が少ない人もおり、久しぶりに会って近況等楽しそうに話はずみ、またの再開を約束して家路へつきました。

には、様々な相談をされることも数多くあります。そのような時には無理なく、気軽に話すような心がけると笑顔を見せられます。また、心から手を合わせられる態度に私にはその感謝の気持ちが伝わってきます。

私は地域の中では安心して皆から頼られるように努めています。体力がある限り地域の一人でも多くの人をお世話させていただけすることに心から喜びと感謝をしております。

昨年は東日本大震災があり、「絆」という言葉が大きく取り上げられましたが、絆の意味を心に思い、今後も共に助け合い、支え合い、元気で素晴らしい街にしていきたいと思っております。



寒風の中の雪かき



# 「大韓老人会」との 国際交流会に想う

境港市老連

広報委員長 遠藤 量

昨年12月2日、大韓老人会ソウル特別市連合会一行37人を境港市老人福祉センターに迎えて、私たち境港市老人クラブ連合会は初めて「国際交流」の体験をしました。通訳を通しての対話は新鮮で真剣なものでした。わが会員は皆、感激でした。

まず、一行を正面玄関広場で、真赤な法被姿で「鬼太郎音頭おどり」でもって熱烈歓迎しました。これがお気に入り交流の輪が和やかな雰囲気になりました。

境港市老人クラブ連合会門脇眞澄会長の歓迎挨拶、大韓老人会ソウル特別市連合会（28万人）黄仁漢会長の訪問挨拶を受けました。

黄仁漢会長は、日本の地方都市を視察するため訪ね、2012年度、韓国の老人クラブの会員を鳥取県に派遣し国際交流を拡大する構想を披露、拍手が沸き起りました。

また「鳥取県の地名が韓国語の「トトリ」（どんぐり）とよく似ていて親しみあふれる印象です」とのことでした。どんぐりがとりもつご縁もこの国際交流に大きな役割を果し、鳥取県との絆が太く

なりそうです。

交流の中で、韓国の参加者から「日本の長寿社会に関心がある。100歳以上は何人か?」「地域スポーツの状況は?」「境港市の老人クラブの加入率と年齢構成は?」等々組織や運営についての質問もありました。

私も日本語で「ご一行、見るからにお若い、加入年齢は何歳ですか?」と質問しました。「若い人は老人クラブの事務局長です。」と意外な返事。それぞれの老人クラブに若い事務局長を配置している。新しい韓国の国づくりへの意気込みを感じました。国際時代を迎えてその感覚を身につける為にも今回の交流は貴重な体験となりました。



絆太く! 広がる輪

## 高齢者に厳しい時代到来!!

### 高齢者の傷害保険 加入条件厳しく!

加入年齢に制限

掛金の高額化

でも、全国規模による  
「団体契約の利点」  
を活かせば〇〇〇

- 1 **加入年齢に制限なし**
- 2 **掛金年間500円からの割安保険**
- 3 **掛金の年齢割増なし**



## 老人クラブ傷害保険のご案内

### 老人クラブ傷害保険 会員にお得な保険!

◆クラブ活動中補償タイプ 老人クラブ活動中とその往復途上のケガを補償します。

年間掛金	補償内容	活動中のケガによる死亡・後遺障害保険金額	活動中のケガによる入院保険金日額(注)	活動中のケガによる通院保険金日額
500円タイプ		50万円	1,000円	650円
1,000円タイプ		100万円	2,000円	1,300円
2,000円タイプ		200万円	4,000円	2,600円

クラブ活動中以外のケガも補償する「24時間補償タイプ」もあります。

(注)手術保険金のお支払い額は、手術の種類に応じて入院保険金日額の10倍、20倍または40倍となります。

## 全国老人クラブ連合会 保険係

老人クラブ  
会員専用

通話料無料のフリーダイヤル  
**0120-000937**

受付時間 9:30~17:30  
(土、日、祝祭日休)

(取扱代理店) 有限会社 シニアサービス社 電話番号 03-3597-8768

(引受幹事保険会社) 東京海上日動火災保険株式会社

(担当課) 医療・福祉法人部 法人第二課

電話番号 03-3515-4144

●この広告は老人クラブ傷害保険(老人クラブ団体傷害保険特約付帯普通傷害保険・普通傷害保険)の概要についてご紹介したものです。詳細は、「老人クラブ傷害保険の手引き」にはさみ込まれている「重要事項説明」をお読みください。ご不明な点等がありましたら、取扱代理店、引受保険会社までお問い合わせください。全老連保険係ホームページ(<http://www.senior-ltd.com/>)でもご確認いただけます。

10-T-11284 平成23年3月作成

●鳥取県老人クラブ連合会2011年1月から12月までの加入クラブ数(132クラブ)、加入人数(2,627人)、前年累計比(87.6%)



### 若手委員会の 取り組みについて

鳥取市老連 若手委員会

委員長 村上 征男

○若手委員とは

若手委員とは、会員の伸び悩みを克服し、新規会員の拡充をめざし会の活性化を図るために選ばれた75歳以下のものです。

その年代は、一升瓶の中の玄米をザクザクついた経験者から、戦争を知らない人たちへつながる幅広い層から成り立っています。

いま、多くの老人クラブが抱えている諸問題は、戦前、戦中の変動の激しい時代を生き抜かれた人たちが築き運営されてきたものが硬直化傾向にあり、その魅力が薄れてきたと思われることではないでしょうか。

全国的にみられる後継者不足や会員減少等による会の衰退を阻止するためには、若手委員が求められているのです。

○全国大会で出会った同志

昨年11月金沢市内にて全国老人クラブ大会が開催されました。

「若手高齢者の組織づくりと活動実践」という大きな事案をテーマとした部会が設営されました。

その中で、早くから若手委員を立ち上げ活動している先進地の実

践報告がありました。

若手部として若手高齢者を中心とした活動に取り組み、活性化をめざして活動をしている若手委員会。また、一方では、若手委員の役割を活動のサポート役と定めて、その活動を支え、「クラブの活動のマンネリ化を避ける考えをだし」「各部の論議にも参加しクラブ活動の活性化を図っていく」ことを主眼とし、また、若手委員の意見を老連理事会へと反映させて会の活性化を進めている若手委員会の発表もありました。

三者三様の事例発表があり、各々の老人クラブが知恵を出し合いながら努力されていることに拍手を送るとともに、自らも思いを新たに、刺激を受けた大会参加でありました。



研修会で報告する村上さん

### 老人クラブ活性化のために

伯耆町老連 若手委員会

委員長 加川 重之

伯耆町老連（以下、本会）では平成23年度より若手委員会を発足しました。発足までには一年間若手委員会検討会を設けて、組織体制、事業内容などについて5回にわたり協議をしました。そこでまとめた案を今年度総会で諮り、了承を得て発足となりました。

そのようにして発足した本会若手委員会は委員12人（男女各6人）で、委員の出身地域も伯耆町全体から偏りがないように選出しています。これは幅広い意見を取り入れることで、より効果的な事業が出来ればと考えたためです。

活動に目を向けてみますと、今年度はまず7月に第一回若手委員



若手委員会の様子



境港市老連若手委員との意見交換の様子

会を行い、互いの自己紹介、現状の老人クラブへの思いなどについて意見を交わしました。また、既存事業である高齢者運動会、福祉大会などのスタッフとして参加し、各大会を盛り上げることができました。現在は、来年度以降どういった活動ができるのか協議をしているところで、「未加入者に対してアンケート調査をしてはどうか」などという声が出ています。

他にも様々な案が出ています。他にも様々な案が出ています。活性化すること、何よりも本会全体が活性化することを大切に考えています。これは各委員一致しており、「本会活性化のための若手委員会」という意識を常に忘れないようにしたいと思っています。そして、このような思いが重なり、最終的には各単位クラブが活性化していければと思います。



# 女性リーダーの養成

活動の新たな発展を目指して

県老連 女性委員会  
委員長 相見 寿子

老人クラブ会員の6割を女性が占めている現状の中で、自主企画・自主運営を基本とした女性委員会として女性リーダーの存在は、クラブ活動全体に大きな影響を与えています。

## 役員のなり手が無い

近年県内でも老人クラブ会員の減少・高齢化が大きな課題となつていますが、女性委員会の活動も例外でなく、若手会員の入会が減り、役員の高齢化、なり手が無い等、深刻な事態が生じています。

## 広くリーダー養成を

県女性委員会では、従来1カ所(中部)開催の研修会(参加者約100人)を、当面3年間、東・中・西の3地区開催に改めました。また多岐にわたる市町村の活動発表を通して、女性委員会単独での事業、若手委員会など他組織との協力事例等、活動のあり方について理解を深めました。

## 研修の成果と今後の期待

参加者が増加する中で、リーダー研修会の初参加者は3年間で600人を超え、新しいリーダーの誕生です。

【参加状況】(参加者の内新人)  
平成21年度 420人(全体の6割)  
平成22年度 438人(全体の5割)  
平成23年度 424人(全体の4割)

先輩リーダーの知識や経験、新リーダーの感性・意欲がうまく噛み合つて、女性リーダーの輪が広がり、女性活動の新たな動きへと発展することを期待しています。このことが更に、老人クラブ活動の活性化へと繋がることを願っています。

## 『東日本大震災』被災地へ

元気袋と救援拠金を届けました

救援拠金額

5,536,258円



元気袋とは、被災者へ「高齢者のまごころを伝える」ことを目的に、日常生活用品とともにメッセージを入れた小袋のことです。

全老連の呼びかけに応じて、鳥取県老連では、3市5町の協力を得て1,300個の元気袋を作成し、昨年10月3日仙台市老人クラブ連合会へ送りました。

女性会員が手作りした美しい布地の小袋。寄せられた品物は、タオル・ティッシュ・バスタオル・石鹸等が多かったです。

昨年11月開催の女性リーダーセミナーでは、東北(岩手・宮城・福島・仙台)各老連女性委員長から、元気袋の活用報告(仮設住宅への友愛活動・地域の交流会・老人クラブ活動等)がありました。ご協力ありがとうございました。

素敵な「きむろの元気袋」を頂きありがとうございました。東日本は全国の皆々様に元気を頂き一歩一歩復興に向って前に進んでおります。皆々様ありがとうございました。



仙台市74歳女性から届いたお礼のハガキ

## 高齢者叙勲受賞者

武良 敬喜 (境港市)

## 全老連活動賞受賞団体

仲間づくり部門 (鳥取市)

みすみ会

健康づくり部門

単地区老人クラブ連合会 (八頭町船岡)

ボランティア部門

東園浜創健クラブ (北栄町)

## 創立50周年記念会員章

のご案内

昭和37年に発足した全国老人クラブ連合会は、720万人の会員を擁する高齢者を代表する組織になりました。

このたび、平成24年に創立50周年を迎えるにあたり期間限定の会員章が作成されました。

会員章を胸に、仲間の絆を深め、活動の輪を広げていきましょう。

お申込み・お問い合わせは、お住まいの市町村老連または鳥取県老連へ。

販売期間

平成23年～平成24年

価格 1個

千円





# 鳥取県老人クラブ 連合会は 「公益社団法人」への 移行を目指します

## 「公益社団法人」への移行

### 公益法人制度改革

公益法人制度については、従来の制度の問題点を解決することを目的に、平成20年12月、新たな制度が創設され、これまでの公益法人はすべて「特例民法法人」となり、平成25年11月末までに、①公益法人 ②一般法人 のどれかに移行するか、解散しなければならなくなりました。

### 県老連の対応

社団法人である県老連は、高齢者・地域福祉の増進に寄与することを目的として活動しており、公益社団法人への移行を目指すことを、理事会や総会において説明し、方向性を共有してきました。

### 公益社団法人を目指すなら

公益社団法人との認定を受け、名称を使用することにより、社会的信用を維持するとともに、税制上の優遇措置を受けることができます。

ます。

### 認定後の事業展開

公益法人に移行すると、主に、不特定多数の利益増進のための事業を行い、基準を満たしているか毎年監督されます。県老連では、事業の一層の充実を図り、広く高齢者・地域福祉の増進に貢献できるように取組みを進めてまいります。

**平成24年度  
主な行事予定**

- 7/3(水) 女性リーダー研修会 (倉吉未来中心)
- 7/5(木) 中・四国ブロックリーダー研修会 (徳島県)
- 7/11(水) 女性リーダー研修会 (さざんか会館)
- 7/19(木) 女性リーダー研修会 (米子ふれあいの里)
- 10/24(水) 地区別研修会 (米子)
- 11/15(木) 地区別研修会 (鳥取)
- 11/28(水) 地区別研修会 (倉吉)
- 2/22(金) 若手リーダー研修会 (倉吉市)



## 編集後記

高齢者が増加するのにも、本会員数は、漸減の傾向にあります。原因を的確に精査し、抜本的な対策を立て、会員拡大運動に粘り強く挑戦することです。

特に有職者が喜んで活躍する場を提供し、60歳代の若手委員候補の入会に力を入れましょう。

出来ぬ出来ぬは工夫が足らぬ。成功例に学び、実行しましょう。

皆様のご熱意に答えるため勇気が湧くご投稿をお待ちしております。(広報委員長 今岡祐一)

## 広報委員

- 委員長 今岡 祐一 (米子市) 県老連理事
- 副委員長 相見 寿子 (鳥取市) 県老連女性委員長
- 委員 日下部武志 (岩美町) 県老連理事
- 委員 北野 昇 (琴浦町) 県老連理事
- 委員 森田 秀雄 (鳥取市) 東部地区代表
- 委員 牧田 頼雄 (北栄町) 中部地区代表
- 委員 瀬山正八郎 (伯耆町) 西部地区代表

発行 社団法人鳥取県老人クラブ連合会  
〒689-0201 鳥取市伏野一七二九一五  
TEL 0857-5916351  
FAX 0857-5916340

団体旅行なら「みなさまの町から」 世界有数の天然ラジウム泉でゆったりと

# 送迎付 日帰り観光やグラウンドゴルフ

新緑の手飾り！観光、グラウンドゴルフと地元の美味しい健康料理と8種の湯めぐりを楽しむ旅

日帰り 送迎 プラン **4,800円** <1名様> 送迎は15名様より (表示金額は20名様以上の時) 入浴・タオル付

【ご注意】高速道路代別途料金。食事はすべて湯命館(カラオケのご用意はありません)

日本名湯百選認定 鳥取県 関金温泉 **湯命館** TEL.0858-45-2000

ゆーめいかん 〒682-0411 鳥取県倉吉市関金町関金宿1139